

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

決算
委員
会

八潮パトリアの活性化に 支援をと区に求める

決算委員会の11月5日は産業経済費の質疑でしたが、南は、八潮パトリア(団地中央にある商業施設、グルメシティーや個店などが入っている)の集客を高める対策と高齢者に優しいサービスの展開が必要と質問しました。



区は「八潮の商業施設
は大切な存在と認識」

八潮の人口は12624人
(11月1日現在)、高齢化率は
22・4%。どこの地域よりも
高い数字です。

高齢化のまちの商業施設の

あり方やサービスの展開をま
ちの状況に合わせたものにし
なければ集客の期待もできま
せん。

南は今年3月の予算委員会
で同じ問題を取り上げました
が、その時、区は「八潮に商
業施設は大切な存在だ」と答

弁しましたので、そのうえで今回はどのように集客できるのか具体的な提案をしました。

高齢者にとって買い物は社交の場

まず、高齢者にとって買い物は社交の場と位置づけることが大事です。とりわけ一人暮らし高齢者は一日の中で会話することもなく過ごします。が、買い物を通じて社会にかかわる場面を持ち心身ともに健康を保てるようにすること。そのためには買い物に行けるような環境づくりが必要になります。

バスに乗って買い物

ある方から「八潮団地のはずれからパトリアに行こうと歩いている途中で転倒してし

まい、やつとの思いで帰ってきたが、あの時は大変だった」という話を聞きました。また、

視力が弱くなった方は「歩けないので、少しの道のりでもバスに乗っていくが、荷物が重いときはバス停から自分の建物まで歩くのも大変」と話します。本場に多くの高齢者が『買い物難民』という状況にあることに気づき驚いています。

八潮と他の商店街と施策が同じでは対策にならない

11月5日の産業経済問題で南は、パトリア（八潮の商業施設）に対する支援策は何か質問をしました。一般的な施策としてあるイベント事業助成（夏173万円、冬135万円）のみ。他の地域とは環

境がまったく違うので、同じような支援策では効果はありません。

住民参加でまちづくりを

空いている空間に住民ニーズを聞いて活用を

3月議会でも取り上げた集客の仕掛け、例えば、囲碁や将棋など楽しめる空間をつくり、昼ごはんを注文できたり軽食を買って食べられるようにする、また、手芸や裁縫、子どもたちの学習や習い事ができる時間が市のスペースなど住民の方たちに意見を聞いてニーズにあった対策をとるなど、区が積極的に提案する

よう求めました。

歩けない高齢者に送迎車を提供せよ

また、足腰が弱くなったり、視力が落ちた高齢者は、毎日の買い物に行けない状況です。そのような実態をなくすために、パトリア側が4〜5人乗りの小さな車で送迎できるようにすること、そのために区が車の購入費と運転手の確保をできるように支援をするべきだと求めました。

買い物は高齢者の社交の場ですから、積極的に外出できるように対策のひとつとして足の確保が必要です。

再開発ウォーキングに参加しませんか

11月21日(日)午前9時半集合

集合場所 品川総合福祉センター前です

生活・雇用・子そだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523